

第3章 産業戦略の目標と方向性

1. 産業戦略の目標

宇治市産業戦略では、令和元年度（2019年度）から概ね10年先までを見据え、次の目標を設定しています。

将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、多様な働く場を創出することにより、定住人口を確保し、市民の豊かな暮らしを実現する。

2. 産業戦略の取組の方向性

宇治市産業戦略の目標達成に向け、本市における産業振興の方向性についても、次の3点を継続します。なお、令和8年度（2026年度）からの4年間に実施する具体的な取組については、第4章に記載します。

(1) 市内産業の進化・発展 “U” (Up grade)

市内産業のさらなる成長、発展に向けて支援することに重点を置き、社会や経済構造の変化に応じた事業や経営方法への転換のほか、設備投資やDXの推進、AIの活用、働き方の改革に向けた取組を促進します。また、市内の事業所や商店街、お茶等の特産品や観光資源、多様な人材や地理的な利点、自然環境等、市内の様々な地域資源を活用して競争力を高め、市外からの資金の流れを増やすことを目指します。

市内事業者の人手不足については最重点課題と位置付け、求職者とのマッチング機会の創出だけではなく、市内事業者が実施する人材定着や育成、職場環境の改善、また労働生産性の向上により人手不足へ対応する取組を支援していきます。

新たな工業用地の確保については、国道24号沿道安田町地区に進出する企業等と連携を深めることで市内経済活性化、定住人口確保を促進します。あわせて、産業立地検討エリアの市道宇治楨島線沿道地区と市道宇治白川線沿道地区については検討を行います。

(2) 交流・連携の強化 “J” (Join)

市内事業者や市内産品の情報発信に加え、産業交流拠点「うじらぼ」や産業振興センターを活用して、様々な多様な交流の場を提供することで、市内外の企業や関係団体、人材との連携を強化し、情報共有やノウハウの交換、新たな取引機会の創出を促進します。また、農業生産者と加工・販売業者、飲食店等との連携支援を通じて、新商品の開発や地域資源の活用による付加価値向上を推進します。

さらに、宇治ブランドや市内事業者の魅力を発信することで、販路拡大や観光客誘致、商店街や地域経済の活性化にもつなげ、市内の経済循環の拡大を図ります。

(3) 新たな産業の創出 “I” (Innovation)

時代のニーズに対応した多様な起業家を輩出するとともに、従来の起業・創業支援制度を十分に活用しにくい層に対しても支援の裾野を広げ、誰もがチャレンジしやすい環境づくりを進めます。

また、宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業が退去後も市内に定着できるよう支援を行い、将来性のある企業が市内に増えていくよう、事業環境の改善を図ります。あわせて、未来の宇治を見据え、市外からの企業の受入や誘致については、宇治市の発展や経済構造の変化を踏まえ、誘致すべき業種やそのための条件整備等を継続的に検討します。

3. 産業分野ごとの目指す姿

(1) 商業

宇治市では、商業やサービス業の分野で働く人の割合が多くを占めており、市内での雇用創出に大きく貢献しています。一方で、商品やサービスを市外から購入する金額が多く、市内での消費が少ない状況にあります。

今後は、商店街や個店の魅力、情報をさらに発信し、地域住民との交流・連携を促進することで、市内での経済循環の拡大を図るとともに、地域に根差した店舗や商店街の活性化を推進します。

また、中宇治・小倉・黄檗などの観光エリアを中心に、観光振興計画に基づく施策を進め、観光客の滞在時間の延長などを通じて消費拡大につなげ、商業やサービス業等の活性化を図ります。

(2) 工業

製造業は経済波及効果が高く、市内産業への影響力が大きくなっています。一方で、住工混在や敷地の用途制限等により、操業の継続や事業所の拡張が難しい場合があることが課題となっています。

今後も、企業訪問等により個々のニーズを聞き、それぞれの事業者の状況を踏まえ、課題解決に向けてその内容に応じて、市の関係課との調整や市制度による支援を行うとともに、国や京都府、産業支援機関や金融機関等と連携した支援を行います。

市内製造業の強みである“独自の技術を持ち、短納期、小ロットへの対応力の高さ”を活かした市内外の企業等とのマッチングや交流・連携の促進による新たな価値創造、AIの活用や設備投資による労働生産性の向上を促進し、製造業の成長・発展を支援します。また、新たな工業用地の確保に向けた取組を引き続き行います。

(3) 農業

農業の持続的な発展に向けて、農業者の減少や高齢化が進む中、生産活動の根幹となる農業従事者を支えるとともに、地域計画に基づき、農業経営基盤の安定化や規模拡大を目指すための取組を支援し、都市近郊の利点を活かした担い手の確保、生産、販路拡大、産地力の向上を目指します。

宇治茶のブランド力は高く、本市を代表する伝統産業であるとともに、高付加価値の特産物となっており、その歴史・伝統を守るとともに、優れた技術等を継承・発展できるよう、生産者への支援に努めます。あわせて、農地の減少や耕作放棄地の増加が懸念される中、農業生産基盤としての農地を守り、担い手や次世代へつながる取組を推進するとともに、市内全域において、将来にわたって、持続発展できる農業となるよう、農業関係団体をはじめ、他産業や他分野との様々な連携を図りながら、「人を支える」「農地をつなぐ」「持続可能な農業経営・新たなチャレンジを支援する」「茶業の継承・発展を支援する」「情報を発信する」の5つの柱をもとに、効果的な農業支援、まちの活性化に寄与する農業振興施策を推進します。

4. S D G s の推進

S D G s は、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、平成 27 年（2015 年）9 月に国連で採択された 2030 年までの国際開発目標です。17 の目標と 169 のターゲット達成により、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。これから社会経済活動においては不可欠な視点となっています。

宇治市産業戦略においても、具体的な取組内容において取組の柱ごとに S D G s の取組を位置づけています。

